



図書館ほっと通信

見に来るだけでもおもしろい！

図書館の意外な使い方 第2弾(データベースの活用)

図書館では、インターネットを使ったオンラインデータベースを無料で利用できます。簡単に検索でき、情報が閲覧できますので、ぜひご利用ください。

※ご利用の際は受付でお申し込みください。申込みにあたって、図書館利用者カードは不要です。それぞれのデータベースの活用講座を開催します。詳しくは、本紙14ページをご覧ください。

データベースの紹介

ディーワンロウドットコム
D1-Law.com

法律の条文や判例を調べることができます。要旨や注釈などもあり、専門家でなくても読むことができます。

静岡新聞データベースPlus日経テレコン

静岡新聞と日本経済新聞の記事が検索できます。印刷可(白黒10円/枚、カラー40円/枚)

また、企業検索や人事検索、データ&ランキングなどの「日経テレコン」のコンテンツも利用できます。



今の一冊



『新聞力：できる人はこう読んでいる』

齋藤 孝／著 筑摩書房／刊

新聞を読むことで身につく力や効果的な新聞の読み方、活用の仕方について分かりやすく解説



袋井市立袋井図書館

TEL42-5325 FAX45-0569



ふくろい歴史事典

生涯学習課歴史文化館

TEL 233-9269

久野城

戦

国時代に建てられた久野城。現在は、建物のない城跡となっていますが、当時の屋根の様子がよく分かる瓦がたくさん出土しています。

いぶし瓦で作られたごく普通の平瓦や丸瓦をはじめ、屋根の一番高いところに設置されるうろこ文様のある鯉瓦(しやちほこ)などの特徴的な瓦のほか、豊臣家との関係がわかる「桐紋鬼瓦」も出土しています。この瓦は、鬼の顔の代わりに桐紋と呼ばれる文様を用いており、豊臣政権下では、豊臣一族の城や朝鮮出兵に関わる城、家康領の隣接地など、特別な意味をもつ城で確認されています。このことから、発掘調査で出土した瓦は、秀吉の家臣、松下之綱が城主だった天正18年(1590年)～慶長7年(1602年)のものだといえることが分かっています。

歴

現在の調査では、これよりも古い時期の瓦が出土していないことから、築城された当時は瓦は使用されておらず、松下氏によって瓦ぶきの建物が造られたと考えられています。

史文化館では久野城址保存特別展「久野城展」を12月28日(金)まで開催しています。久野城にまつわる古文書や出土した瓦・土器などを展示しています。ふくろいの歴史に触れてみませんか？皆様のお越しをお待ちしております。



出土した久野城の瓦